

(別紙5)

整理番号 2019P-145
補助事業名 2019年度 障害者グループホームの建築 補助事業
補助事業者名 社会福祉法人 愛光会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

当法人のグループホームは、全て賃貸のアパートを借りての事業（現在84名利用）で、このアパートが老朽化し、また大家さんも建替えを考えておられない為、当法人自前のグループホーム建築の検討を進め、最小でも3棟（10名×3）、可能であれば5棟の建築を考える一方、15年後の入所施設の建て替えの財源も考えておかなければいけない状況で、当法人の財源のみでは計画が前に進まず、貴補助事業のお力をお借りしてグループホーム建築の第一歩を踏み出させて頂きました。

(2) 実施内容

障害者グループホームの建築

(<http://aikoukai-seijyo.com/hojyozigyofure-mu.html>)

新築定員10名 木造スレートぶき平家建て 340.11㎡

社会福祉法人 愛光会 障害者グループホーム



1 南東外観



2 玄関部、補助事業の表示



3 表示



4 南西外観

(別紙5)



5 北西外観



6 東北外観



7 名称板、インターホン



8 駐車SP



9 玄関へのスロープ



10 玄関

(別紙5)



玄関、片引き戸

11 玄関



12 廊下全景（玄関から）



ナースコール設置

13 多目的トイレ



14 その他、トイレ



15 洗濯室



16 食堂、談話室

(別紙5)



17 事務室



18 居室

2 予想される事業実施効果

まずは第一に、ご利用者の皆様がこれまでの2階建ての古い民間アパートから、新築で明るく快適な生活環境の中で生活を送れる事に大変喜ばれています。また、バリアフリーの造りやスプリンクラーの設置で、安全安心な生活の提供もできました。ここで暮らされるご利用者様が、今後年齢を重ねられ、徐々に身体的な衰えにより、足腰に不安が見られたとしてもバリアフリーの造りの為、末永くここでの生活を送って頂く事が出来ます。

第二に、当法人のグループホームは、全て賃貸のアパートをお借りしての運営を行っておりますが、アパートの老朽化や大家さんも建替えを考えておられず、今後の運営を考えるとご利用者様の住まいの場は勿論の事、そこから日中の各事業所（就労継続支援A型・B型）に通われ作業や仕事をされているため、グループホームがなくなればそれらの施設の運営にも影響がでる等、その方々の暮らし全般の継続に不安が残るなか、貴事業のお力添えにより当法人自前のグループホームを建築させて頂くことができ、今後更なるグループホーム建築の足掛かりとなる第一歩を踏み出すことができました。

3 補助事業に係わる成果物

本事業に係わる印刷物等

愛光会広報誌（ふれあい）(URL: <http://aikoukai-seijyo.com/fureai288.pdf>)

* 2021年4月末まで閲覧可能

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 社会福祉法人 愛光会 (シャカイフクシホウジン アイコウカイ)

住 所： 〒820-0201

福岡県嘉麻市漆生1062-7

代 表 者： 理事長 豊嶋和孝 (リジチヨウ トヨシマカズタカ)

担 当 部 署： 障がい者支援施設 清浄学園 (セイジヨウガクエン)

担 当 者 名： 施設長 橋本忠輝 (シセツチヨウ ハシモトタダキ)

電 話 番 号： 0948-42-4350

F A X： 0948-42-1023

E - m a i l： seijyo77@eagle.ocn.ne.jp

U R L： <http://aikokai-seijyo.com>